



宮前平中学校区

地域教育コーディネーターの設置について

コロナ禍において、地域教育会議の役員を中心に何度もオンライン会議を重ね、学校をよく知る学校教育推進会議のメンバーがコーディネーターになることが学校とのスムーズな連携につながると考えました。

中学校区に住まいがある8人が候補となりました。8人全員が小学校、中学校でPTA役員を経験され学校へ関わった経験も多く、それぞれに学校と地域をよく理解している方々です。

地教教育コーディネーターの決定までには前任の鈴木校長と現渡邊校長とのコミュニケーションが不可欠であり、学校の思いや要望にも常に耳を傾けてきました。加えて、川崎市教育委員会生涯学習部地域教育推進課の西入指導主事、佐藤指導主事には、専門的な立場から適切な助言を頂きました。

当初の話し合いでは、今までと同様の活動に対して謝金が出ることが、逆にコーディネーターの重荷になること等、これまでと違う立場に戸惑う意見が多く、公募制等の意見もありました。しかしながら、地域をよく知る人を選出するという観点から 2021年度の地域教育会議総会で、役員の実メンバーを校長先生が推薦するという形を了承していただき、活動がスタートしました。



地域教育コーディネーター
金田様

コーディネーターとしての活動

事務局は5校で2年ごとに担当しています。近年新型コロナウイルス感染症の影響からオンラインを実施することが多くありました。会議をスムーズに実現させるための設備やシステムの構築などもIT関係にお勤めの委員の方に設置していただくなど地域の人材が豊富な点が特徴としてあげられます。また、「地域安全マップの作成」などの行事については、常にコーディネーター間での情報共有を密にして、主催に関しては、全て地域教育会議側から提案する形をとっています。

コーディネーターとして大切なこと

コーディネーター自らが楽しみながら様々な活動に取り組むことで行事の成功につながっていくことや口頃からアンテナを高くして面白いことや興味のあることを積極的に取り入れることが会議の活性化につながると考えています。このコロナ禍で学校と地域教育会議の接点が多く、顔の見えない関係になってしまった気がしています。まずはオンライン顔合わせを実施し、これを機に各学校とのつながりがスタートしました。以来、それぞれの校長先生から様々な連絡が入るようになりました。地域教育コーディネーターは、小中学校時代に全員がPTA役員を経験しています。自分たちの子どもがそうであったように、今いる地域の子どもたちが健やかに育つために何ができるのかを考えていけるような会議でありたいと思います。

地域教育推進課 指導主事よりコメントをいただきました!

川崎市には、地域と学校が連携・協働して子どもの豊かな成長を支える「地域教育会議」が中学校区と行政区に設置されています。現在、中学校区地域教育会議では、国が設置を求める「地域学校協働本部」の役割を兼ねる形で整備を進めており、その1つとして、地域の方に「地域教育コーディネーター」を担っていただくことで、地域と学校の橋渡し役などの活躍が期待されています。

各中学校区によって、地域の特色や地域教育会議の運営の仕方などが異なりますので、地域教育コーディネーターの選出について、ご心配、ご不明な点がございましたら、地域教育推進課にご連絡ください。地域教育会議や学校の皆様の声を伺いながら、一緒に考えていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

川崎市教育委員会 生涯学習部地域教育推進課 西入指導主事



川崎市地域教育会議 全市交流会の様子(2023年1月)